

智頭急行株式会社 代表取締役社長 城平 守朗 様

## より利便性の高い運行の実現等について

J R山陰本線は、沿線住民のみならず、ビジネスや観光利用など鳥取県中部地区全体の地域経済活性化及び交流人口拡大には欠かせない存在となっています。本協議会としましても、鳥取県中部地区の情報とあわせて特急「スーパーはくと号」による移動の快適性・利便性についてインターネットを媒体とした情報発信や、スーパーはくとを利用した旅行商品の造成支援など、J R線、智頭線を利用した誘客促進に取り組んでいるところです。

については、これらの取り組みにあわせて、より快適性・利便性の高い運行を実現していただくよう、以下のとおり要望します。

- (1) 新型コロナウイルス感染症の影響による旅客運輸収入の減により、財政状況が厳しい状況を踏まえ、車両の更新にあたって、まずは機体調査の実施、及びその結果に基づく車両の延命工事に取り組んでいただきたい。
- (2) 特急「スーパーはくと」号について、外国人観光客、高齢者等の利用促進のため、車内案内の多言語化、快適性、デザイン性、バリアフリーに配慮した車両とするとともに、環境に配慮したハイブリッド車両等への更新を視野に入れご検討いただきたい。
- (3) 快適な利用環境の促進、地域におけるI T化推進のため、智頭急行株式会社において管理されている駅に「I C専用型改札機」などのキャッシュレス決済システムを早期に導入いただきたい。

令和3年11月12日

J R線・智頭線中部地区利用促進協議会  
会 長（倉吉市長） 石田 耕太郎

中部地区行政振興協議会  
会 長（倉吉市長） 石田 耕太郎